



平成 29 年 11 月 27 日

杉並区長 殿

杉並区NPO等活動推進協議会

会長 福島 康仁

平成 28 年度杉並区協働提案実施事業の評価結果について

平成 28 年度杉並区協働提案実施事業について、下記のとおり評価を行ったので報告します。

記

1 平成 28 年度杉並区協働提案実施事業評価員

氏 名	区分	備 考
ふくしま やすひと 福島 康仁	杉並区NPO等活動推進協議会会長、 同協議会協働推進部会部会長	日本大学法学部 公共政策学科教授
ただ くにあき 多田 邦晃	杉並区NPO等活動推進協議会 協働推進部会部会員	区民公募
まつもと さおり 松本 沙織		区民公募
はちや えつこ 八谷 悦子		NPO等活動関係者（公 募）
みはら きくえ 三原 紀久恵		団体推薦（東京税理士会 荻窪支部）
おく まさる 奥 優		団体推薦（公益社団法人 東京青年会議所）

2 平成 28 年度杉並区協働提案実施事業一覧

【平成 27 年度からの継続事業】

No.	提案団体名	協働提案名	担当課
①	特定非営利活動法人 チューニング・フォー ー・ザ・フューチャー	すぎなみ戦略的アートプロジェクト	区民生活部 文化・交流課 文化振興担当
②	株式会社トロア	杉並区内の障害者施設ネットワーク 基盤の強化	保健福祉部 障害者生活支援課 就労支援担当
③	特定非営利活動法人 杉並冒険あそびの会	子どもプレーパーク事業	保健福祉部 児童青少年課 児童館運営係

【平成 28 年度新規事業】

No.	提案団体名	協働提案名	担当課
①	特定非営利活動法人 中小企業診断士会	空き店舗のデータベース作成と商店 街・創業者のマッチング事業	区民生活部 産業振興センター 商業係
②	特定非営利活動法人 ピルコン	すぎなみレッドリボンプロジェクト	保健福祉部 保健予防課 感染症係

3 協働提案の評価方法

◆ 評価対象

- (1) 実施事業関係書類の書類審査
 - ① 「平成 28 年度杉並区協働提案実施予定事業の評価結果(H27.12.1)」
 - ② 「協働提案事業協定書」(平成 28 年度)
 - ③ 「協働提案実施事業計画書」(平成 28 年度)
 - ④ 「収支予算書」(平成 28 年度)
 - ⑤ 「協働提案実施事業報告書」(平成 28 年度)
 - ⑥ 「収支報告書」(平成 28 年度)
 - ⑦ 「事業に係る成果物(小冊子等)」
 - ⑧ 「平成 27 年度杉並区協働提案実施事業の評価結果」(継続事業のみ)
- (2) 提案団体・担当課による公開報告、質疑(H29.11.6開催)
- (3) 公開報告会後の各部会員の意見交換(H29.11.6開催)

◆ 評価方法

- 「協働提案評価表」を使用して各部会員が評価項目ごとに ABCDE 評価する。
A=特に評価できる (5点)、B=どちらかといえば評価できる (4点)、C=標準的である (3点)、D=どちらかといえば評価できない (2点)、E=評価できない (1点)
- 各部会員評価表を集計し、以下のとおりの採点を評価の参考とする。
 - ・ 評価項目及び全体の平均点を出す。平均点を出すに当たっては、4人の平均点を算出
- 評価については、平均点に応じて以下の5段階で行うこととする。

A	B	C	D	E
特に 評価できる	どちらかといえば 評価できる	標準的である	どちらかといえば 評価できない	評価できない
5 ~4.45	4.44 ~3.45	3.44 ~2.45	2.44 ~1.45	1.44 ~1

4 評価内容

(1) 平成27年度からの継続事業

No.	提案団体名	協働提案名	担当課
①	特定非営利活動法人 チューニング・フォー ー・ザ・フューチャ ー	すぎなみ戦略的アートプロジェクト	区民生活部 文化・交流課 文化振興担当

○ 評価結果

「B」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「すぎなみ戦略的アートプロジェクト」にかかる「特定非営利活動法人チューニング・フォー・ザ・フューチャー」および「杉並区区民生活部文化・交流課文化振興担当」の協働提案実施事業について、「どちらかといえば評価できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、区内で活動するアーティストの要望に応える事業内容となっている点は評価できる。その一方で、区民の要望を十分に把握して事業計画を策定したかは疑問が残る。区民全体の要望という観点から事業展開の必要性についてもう少し明示してほしいなどの意見が委員会では出された。

設定された目標については、すぎなみアートさんぽでスタンプラリー付きマップなどを作成し、3年間で100件のギャラリー登録という目標を達成できた点は評価できる。ただし、登録件数がほぼ目標を達成したものの、登録だけのケースもあるので、今後の課題として取り組んでほしい。

協働の効果については、協働による事業の認知度の向上、アーティスト、ギャラリー双方からの事業への信頼獲得などの効果が登録者数の増加に寄与したと推測できる。サポーター募集、人材を確保するなどの面において文化事業を推進する大きな効果があったと評価できる。

地域資源の活用については、まちなかギャラリー及びアーティストの登録数の増加は、地域資源や地域人材を有効に活用できたものと評価できる。その一方で、プロジェクトへの関与度が低いギャラリーやアーティストが増えている点は課題である。

区民満足度については、ファンミーティングに一定数の参加者がいることから、アートに関心のある一定数の区民の理解は得られていると思われる。また、アートサポーター講座に受講者の大部分がサポーターの登録をした点は評価できる。しかし、ファンミ

ーディングでは新規の参加者が少なく、より多くの区民に事業を理解してもらう必要がある。事業への理解を多くの区民から得るなど、より多くの区民の満足度をどのように向上させていくかが課題である。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、ギャラリーやアーティストの登録数の増加、すぎなみアート散歩の企画など事業の実施については評価できる。その反面、これらの事業を発信するためのWEBサイトのメンテナンス不足があり、今後の改善に期待する。

経済性については、協賛金の獲得、広告収入など自主財源の確保の努力は高く評価できる。より自立を高めるためには協賛金の更なる増額に向けた取り組みを期待したい。経費については、事務局人件費の一般制作管理費が収支予定と収支報告で区と団体の負担割合が大きく変わっていることについて詳細に説明すべきであるとの意見が付されている。

創造性・新規性については、すぎなみ地域大学での講座の開講、すぎなみアート散歩の実施、SUGINAMI CREATIVE CATALOGUEの作成など、積極的な事業を行っていることは評価できる。

今後の継続性などについては、ギャラリーやアーティスト、サポーターが固定化していること、事業資金の調達方法という点で課題が残る。アートに関心のない地域住民の興味を刺激するようなイベントや、年齢、性別を超えた、新たな交流の場として発展を期待したい。

②	株式会社トロア	杉並区内の障害者施設ネットワーク 基盤の強化	保健福祉部 障害者生活支援課 就労支援担当
---	---------	---------------------------	-----------------------------

○ 評価結果

「B」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「杉並区内の障害者施設ネットワーク基盤の強化」にかかる「株式会社トロア」および「杉並区保健福祉部障害者生活支援課就労支援担当」の協働提案実施事業について、「どちらかといえば評価できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、工賃のデータベース化を通じて現状分析、東京都の平均よりも低い杉並区の障害者施設の工賃の改善に寄与したものと評価できる。一方で、売上目標の設定のもとで、障害者施設で着実に売上が伸びることが障害者の真の喜びに繋がっているかは疑問が残るとの評価も委員のなかから多く出されている。

設定された目標については、複数の施設間での共同仕入れ等、施設の職員が事業の改善に努め経営効率を高めることで、工賃の改善を図るものであると理解する。その結果、3年間で20%も平均工賃を向上したことは評価できる。ただし、障害者施設の利用者・職員等の達成感・やりがいという点については、具体的な目標を達成できたかの判定は難しく、目標が当事者である障害者と共有されていたかどうかは疑問である。

協働の効果については、区と連携することで、各施設間でのネットワーク形成は区の有する信頼により構築され、当該団体と区の両者の強みや特徴を生かした協働事業といえる。障害者施設だけでは存在しなかった提案は、施設職員の運営に対する意識改革をもたらしたと理解する。

地域資源の活用については、支援者、購入者を増やす事業を実施した点が評価できる。

区民満足度については、施設での商品の内容、購入方法など、具体的なことを公表することにより、区民の理解や満足度が向上した。また、事業を通じて、障害者やその家族の満足度はある程度の向上したのではないかと思われる。次の段階として、より障害者自身がやりがいなど精神的な満足を高める工夫を期待したい。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、コンサルタントの専門知識が生かされ経営改善が進み、施設運営事業が改善された。

経済性については、ほぼ問題ないが、調査研究費が予算よりも大きく増加していることに疑義があるとの意見が出されている。

創造性・新規性については、ギフトセットの開発やウェブサイト、カタログの改定など、企画、広報ともに積極的に取り組んだ。

継続性・波及性については、地域への広報等により理解が深まり、地域の支援が広がることを期待したい。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

前述のとおり、障害者が長く継続できるよう、効率性とのバランスに配慮したうえで付加価値がある商品開発を行うことを望む。障害者施設の運営は企業の経営原理だけでは成り立たず、単に賃金を上げることだけに固執する必要はないと考える。そのため、障害者施設の運営者やそこで働く障害者の意見を十分聴取したうえで、障害者施設ならではの改善を期待したい。

③	特定非営利活動法人 杉並冒険あそびの会	子どもプレーパーク事業	保健福祉部 児童青少年課 児童館運営係
---	------------------------	-------------	---------------------------

○ 評価結果

「B」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「子どもプレーパーク事業」にかかる「特定非営利活動法人杉並冒険あそびの会」および「杉並区保健福祉部児童青少年課児童館運営係」の協働提案実施事業について、「どちらかといえば評価できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、プレーパークの実施希望者も多いため、特に親子のニーズが高いものと評価した。区民の要望に応えた事業を行なったといえる。今後も子供の健康や、新たな交流の場として期待したい。

設定された目標については、おおむね目標を達成していると評価した。ただし、次世代プレーリーダーの養成が課題である。

協働の効果については、区と協働することで、当該団体は出前プレーパークの実施場所、実施回数など事業拡大が可能となった。提案団体が有する経験的知見と人的リソース、行政の有する公園などのインフラや信頼度がマッチして相乗効果をもたらした。

地域資源の活用については、公園などの施設を利用した活動であり、地域資源を有効に活用している。新規の開催場所をより増加し、さらなる地域人材を有効に活用していくことが今後の課題であろう。

区民満足度については、プレーパーク等が行われている地域では区民の満足度は向上している。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、長年の運営実績があり、事業実施に必要な十分なノウハウの蓄積があると判断した。ただし、これから事業を拡大していく上で団体の組織基盤の強化、自己資金の確保が重要である。事業を継続するためにはより多くの自己資金を確保することが重要となる。自己資金力の脆弱性を改善するには、より組織力・資金力を高めてほしいとの意見が出された。

創造性・新規性については、事業の核であるプレーリーダー等の育成に努めてほしい。

継続性・波及性については、事業を支える運営者・会員・ボランティア・プレーリーダー等の充実が将来的に発展、継続する可能性を握っているが、それらの増員が十分でないように思われる。また、新たな地域、実施場所の拡大については、担当課から全庁への働きかけによる波及効果を期待したい。

(2) 平成28年度新規事業

No.	提案団体名	協働提案名	担当課
①	特定非営利活動法人 中小企業診断士会	空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業	区民生活部 産業振興センター 商業係

○ 評価結果

「C」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業」にかかる「特定非営利活動法人杉並中小企業診断士会」および「杉並区区民生活部産業振興センター商業係」の協働提案実施事業について、「標準的である」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、空き店舗の解消という地域の課題に対して区民の要望・課題として必要があったと評価した。ただし、登録商店街には地域差が存在し、地域別での課題、ニーズを十分に把握したものとはいえない。また、事業の着手前に、不動産業界から十分に情報を得ているとは言い難い。

協働の効果については、商店街の登録数が目標を達成していることから、協働で事業を実施した一定の成果はあったと考えられる。

地域資源の活用については、商店街の登録数が目標を達成した点については、地域資源を活用できたとも考えられる。一方で空き店舗の掲載数が目標を下回ったこと、その一因として家主自身の個人的な問題や、不動産業者との連携が不十分であったことが指摘できる。

区民満足度については、マッチングの実績が少なく満足度が期待どおり向上したとはいえない。ただし、マッチングが成功した事例が若干示されたことで、限定的ではあるが区民の満足度は向上した。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、商店街の活性化支援、創業希望者の出展支援において提案団体の経験値や専門知識を生かした点は評価できる。

創造性・新規性については、空き店舗のデータベース作成という新たなチャレンジへの取り組みは評価できるが、マッチングが成立した商店街に偏りがあり地域全体への波及効果については疑問が残る。実現可能性という点ではやや課題が残る事業であったと考えられる。空き店舗の登録時に不動産業者との障壁があり登録実績が増えない理由とされていたが、想定外の理由とは言い難い。

全体を通じて、事業自体については期待した成果が十分でなかったが、この事業を通じて構築された商店街との信頼のネットワークの構築という点では大きな成果をもたらしたと評価できる。今後このネットワークという資産を活用し、商店街の活性化に期待したい。

②	特定非営利活動法人 ピルコン	すぎなみレッドリボンプロジェクト	保健福祉部 保健予防課 感染症係
---	-------------------	------------------	------------------------

○ 評価結果

「B」

○ 評価コメント

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「すぎなみレッドリボンプロジェクト」にかかる「特定非営利活動法人ピルコン」および「杉並区保健福祉部保健予防課感染症係」の協働提案実施事業について、「どちらかといえば評価できる」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、区内の若者に関する課題を適切にとらえている事業である。啓発冊子やアイデアにより、話題として取り上げられにくいテーマを適切な手法で事業を実施した。特筆すべきは、即日検査をwebで申し込みができるように改善した点、それにより申込者が増加した点は大いに評価できる。

設定された目標については、設定が困難なことは理解できるが、啓発活動のための目標設定が具体的でなかった部分が散見されるとの意見が付された。中学校、高校での実施が少なく、区内3校、延べ270人であった点についてはより多くの若者へのアプローチが必要であると考えられる。

協働の効果については、教育者を対象とした講演会・説明会を実施した点は協働による大きな成果である。団体のノウハウにより、さらにより多くの関係団体に波及した取り組みを望む。

地域資源の活用については、先述したように区内の保健に関わる教育者に対する講演会・説明会の実施など、地域資源と地域人材を活用したと考えられる。また、サポーターの育成に力を入れ地域人材を活用しようとする点は評価できる。杉並区内の大学学園祭での啓発活動、メンバー募集、ピアリーダーの育成への地域での参加者が進んでいる点も評価したい。

区民満足度については、事業の実施自体が区の公衆衛生上大きな役割を果たしているのに対して、活動の広報が不十分である。イベントなどでの啓発活動により区民の理解と満足度は向上したと考えられるが限定的であり、今後、多くの区民に対して周知度が高まるような広報活動を含めた事業展開を期待したい。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、団体がもつノウハウ、知識、経験が生かされた事業であったと考える。他団体との協力という点では課題が残った。当該団体と区がより協働し、区内の中学校、高校、大学との協力・ネットワークの構築

が課題である。

計画性については、事業計画に沿った事業を行ったと認められる。ただし、次年度のビジョンを変更していることから、事業の成果については十分な結果が得られていない点もあると考えられる。

経済性については、団体負担金収入が予算より少ないこと、支出に消耗品が予算時よりも大幅に増えていること、印刷製本費は予算より少なくなっていることから、予算作成時の精査が必要であると考えられる。

創造性・新規性については、イベントでの啓発活動、冊子の作成、チャリティーグッズの作成など様々な積極的な挑戦は評価できる。啓発資材の企画・啓発については、作成した冊子などは斬新な発想に基づいたものであると考えられる。若者への啓発や、ピア・エデュケーションの実施が進み、地域への更なる波及効果を期待したい。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

正面から取り組むには非常に困難なテーマに、斬新的な、多様なアプローチを試みている点を高く評価し、今後の更なる展開に期待したいとの意見が多くの委員から出された。

5 杉並区協働提案評価集計表

別紙のとおり